

世界の街かど

by Etemari 2月2019



ちょこっとプロローグ



わたしはEtemari.絵に書いた手毬。幾何学模様がとても美しいでしょう？

さて、中学で、オーストラリアにいったのが初め。ホームステイをして、文化の違いを感じたのが最初。高校の時、語学短期留学で3ヶ月英国に行き、ホームステイ。そこで知り合った台湾の女の子が東京に来たり、私も台湾の彼女のお家に10日お邪魔したり。。いろんな人々、暮らし、そしてたべものたち。いつの間にか、私は旅行を食べている。もちろん、日本も。鳥取の砂丘、白川郷の雪、などなど。さて、今回は外国編4つ(本当は5つめでした!)め、タイへの友達と二人旅です。。



一日目



1日目は、お昼過ぎにバンコクに到着。ホテルに荷物を置いた後、ショッピングセンターがあるサイアムへ。サイアムはもともとのタイの正式国名Siamの英語読み。そういえば、昔はタイをシャムといったらしい。夕食を食べたあと、タイ式マッサージで7時間の長時間フライトの疲れを癒すことにした。初めてのタイ式マッサージはとにかく痛く、自分の体がどれほど凝っているのか痛感した。結構痛かったなので、このときは、もういいや、と思った。身体が軽くなったところで、二人でナイトマーケットに行くことにした。バンコクといえばナイトマーケットと言われるらしい。チャオプラヤー川をボートに乗って進んでいくと、大きな観覧車が見えてくる。ここがアジアティークザリバーフロントだ。このマーケットは、少し歩くと小さなナイトマーケットがいくつもあるタイの中でも比較的新しく、人気のマーケット。タイらしいエスニックな雑貨はもちろん、レストランやココナッツアイスなどの出店も多い。タピオカを飲みながらのんびりとホテルへと帰って終了。





上が3輪タクシートウクトウク。右端はバジャ
イーそうそう、まだ小学生の時、家族でイン
ドネシアに行ったのでした！







二日目



2日目。現地ツアーに参加するため朝早くから1日が始まった。ホテルのラウンジで同じく日本人の団体と合流し、バンコクから南西に70km離れたサムットソンクラーム県に向かう。



ここにはタイの珍スポットとして有名な、メイクロン線路市場がある。このマーケットの特徴は、今も現役で使用されている線路の上にあること。線路の両脇には果物や海鮮を売る店が所狭しと並んでいる。なんと本当に列車が通っているわけで、いざ列車が来ると素早くテントを折り畳み、列車が通過すると、商人達は何事もなかったかのように素早く店を元に戻して商売を再開する、なんとも面白い光景だった。





次に向かったのは水上マーケットだ。その名の通り、水上を小型ボートに乗って移動する。果物や雑貨を積んだ小舟が運河を行き交う昔ながらのマーケットは、とても印象的だった。



次は、タイに行ったら絶対にはずせないアユタヤ遺跡に向かった。アユタヤ王朝(1351年 - 1767年)は、タイの長い歴史の中でも最大の王朝であり、世界遺産にも登録されている。当時の戦いで破壊された寺院遺跡や仏像を多く見ることができ、当時に想いを馳せることができる貴重な場だ。







ここではゾウ乗り体験やゾウとの記念
撮影もできて大満足。





最後はバンコクに戻り、カリブソキャバレーでのニューハーフショーを観劇することになった。私は、今まで「ニューハーフ」と呼ばれる人々の存在を知ってはいた。新宿にもたくさんいらっしゃるはず。けれど実際に会ったことがなかったので、今回はとても衝撃的だった。とは言え、性文化の多様性を知ることのできた意味では、大変貴重な体験だった。



そして三日目ー帰国まで



さて、最終日。お昼頃にホテルを出て、キングパワーという免税店やショッピングモールでお土産探し。友人と、この3日間ホテルの食事ばかりで、本格的なタイ料理を食べていないという話になり、街のタイ料理屋へ向かう。いろんな料理があるが、次のページに写メしたスープ料理も試みた。載っているのはレモングラスのようだ。味はパクチー？ っ
てはっきりしませんでした。日本では、コリアンダーと言う香辛料として使うことも多いから、そうなんですか。。研究しなくては。ま、これがとにかく辛い、香辛料がきつい！
とにかく癖が強いのです。同じアジア圏なのに、こんなに味覚が違うのかと驚くことに。けれど不思議なことに、最初はこんなもの食べられないよ、と思いながら食べているうちに、3日も経つと、逆に少し癖になってきた気がするから不思議なものですね。お腹がいっぱいになったところで、最後にもう一度タイ式マッサージを体験。このマッサージも、初日の体験では、もうしない、と思ったのに、この日は、またしたいと思っている自分がいたわけで。まあ、何かと癖になる国でありました。こうして3日間のタイ旅行は終わりました。

さて、つぎは、どこにしましょうね。。 お楽しみに！ Etemariでした。





素敵な経験でした。タイ王国。ありがとう！

